平成 26年 2月 21日

各　　位

会　社　名　　日本ペイント株式会社
代 表 者 名　　代表取締役社長　酒井　健二
（コード番号：4612　東証第一部）
問 合 せ 先　　執行役員総務部長　赤木　勤
（TEL 06-6455-9141）

持株会社体制への移行準備開始に関するお知らせ

当社は、株主総会の承認及び所管官公庁等の許認可等が得られることを条件として、2014年10月を目処に持株会社体制に移行することを計画し、本日開催の取締役会において、その実現に向けた準備を開始することを決議しましたので、お知らせいたします。

1.【持株会社体制への移行の背景と目的】

当社は、現在遂行中の中期経営計画「サバイバル・チャレンジ　StageⅡ」のもと、「確固たる利益体質の定着」を目指し経営体質を強靭なものとするため、国内外において各事業の拡販や原価低減活動などの施策に取り組んでまいりました。それらの成果が着実に表れ始め、直近の業績は好調に推移いたしており、2015年度以降の「サバイバル・チャレンジ　StageⅢ」で掲げた、「世界のトップメーカーと肩を並べる」ための体制が整ってきたものと考えております。

去る2月3日に発表した、Wuthelamグループとの協業関係深化に向けた戦略的提携は、「サバイバル・チャレンジ StageⅢ」へ向けた礎として位置づけ、この提携により、グループ売上高は約5,000億円に達し、塗料メーカーとしてはアジア第1位、世界第4位のポジションとなります。

ここからさらに、グローバル市場に打って出る「第2の創業」を成し、当社がグローバルペイントメジャーへと成長するためには、適切な経営インフラと具体的な成長戦略が両輪となって機能することが不可欠であると考えるに至りました。今後、経営インフラを刷新することで、提携によるメリットの最大化を追求してまいります。

当社は、グループとしての価値を最大化し、今まで以上に成長を加速させるための経営インフラとして、持株会社体制が最適であると判断いたしました。グループ全体で最適な意思決定を行うとともに、スピード感を持って事業運営・意思決定を実行することにより、事業や地域の成長モデルに応じた「ポートフォリオ経営」を実現いたします。

持株会社体制のもとで、持株会社はグループ経営に特化、グループ最適の経営を徹底するとともに、事業会社には事業執行上の権限を委譲、事業運営の自立性を高めていくことで、グローバルでのグループ経営インフラを強化することができると考えております。

さらに、持株会社体制移行の効果を最大限に発揮させるために、成長モデルに基づき将来的なグループ内組織再編も視野に入れて、今後具体的に検討いたしてまいります。

2.【持株会社体制への移行方法】

具体的な移行スキームにつきましては、今後の検討を踏まえて、取締役会で決議次第、開示いたします。

3.【持株会社体制への移行スケジュール】

(1)　2014年5月（予定）　　持株会社体制への移行に関する取締役会決議
(2)　2014年6月（予定）　　持株会社体制への移行に関する株主総会承認
(3)　2014年10月（予定）　　持株会社体制への移行

以　上